

青森第一高等養護学校屋上防水改修工事

設 計 図 書

図面番号	図面名	図面番号	図面名	図面番号	図面名
A－特1	改修特記仕様書（1）	管A－1	仕上表（管理訓練棟）	教A－1	仕上表（特別教室棟）
A－特2	改修特記仕様書（2）	管A－2	平面図（管理訓練棟）	教A－2	平面図（特別教室棟）
A－特3	改修特記仕様書（3）	管A－3	改修前屋根伏図（管理訓練棟）	教A－3	改修前屋根伏図（特別教室棟）
A－特4	改修特記仕様書（4）	管A－4	改修後屋根伏図（管理訓練棟）	教A－4	改修後屋根伏図（特別教室棟）
A－特5	改修特記仕様書（5）	管A－5	改修前矩計図（管理訓練棟）	教A－5	改修前矩計図（特別教室棟）
A－特6	改修特記仕様書（6）	管A－6	改修前矩計図（管理訓練棟）	教A－6	改修後矩計図（特別教室棟）
A－特7	改修特記仕様書（7）	管A－7	防水詳細図（管理訓練棟）（参考図）	教A－7	防水詳細図（特別教室棟）（参考図）
A－特8	改修特記仕様書（8）	管A－8	安全対策図（管理訓練棟）（参考図）	教A－8	安全対策図（特別教室棟）（参考図）
共A－1	案内図・配置図			宿A－1	屋根伏図（寄宿舎棟）

青森県教育庁学校施設課
株式会社 たいら山口設計

青森第一高等養護学校屋上防水改修工事		特記仕様書															
I. 工事概要																	
1. 工事場所		青森市大字西田沢字浜田 地内															
2. 敷地面積		30,839.39㎡															
3. 工事種目		改修一式															
1) 特別支援学校		鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 1階建て 一部2階建て															
延べ面積		7,286.76㎡															
4. 工事内容																	
1) 特別支援学校		ー 1. 屋上防水改修を行う。（管理訓練棟・特別教室棟） ー 2. トップライト改修を行う。（特別教室棟・男子寄宿舎棟） ー 3. シーリング改修を行う。（管理訓練棟・特別教室棟・男子寄宿舎棟） ー 4. 内部改修（雨漏れ部分）を行う。（管理訓練棟・特別教室棟）															
5. 指定部分		・有 対象部分（ ） 指定部分工期 年 月 日 ・無															
6. 工事範囲		※「3. 工事種目」すべてを工事範囲とする。 ・「3. 工事種目」のうち _____ の工事範囲は下記のとおりとする。 _____ _____ _____ _____ _____ _____ _____															
II. 建築改修工事仕様		(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版」（以下「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）令和7年版（以下「標準仕様書」という。）によるほか、下記仕様書等のうち、○を付けたものを適用する。 ○建築工事標準詳細図（令和4年版）（以下「標準詳細図」という。） ・公共木造建築工事標準仕様書（令和7年版） ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版） (2) 電気設備工事及び機械設備工事を本工事に含む場合は、電気設備工事及び機械設備工事はそれぞれの特記仕様書を適用する。 なお、電気設備工事の特記仕様書は（ ）／（ ）図、機械設備工事の特記仕様書は（ ）／（ ）図による。 (3) 本特記仕様書の表記 1)項目は、○印の付いたものを適用する。 2)特記事項は、○印の付いたものを適用する。 ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。 ○印と ⊗ 印の付いた場合は、共に適用する。 3)特記事項に記載の [. . .] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 4)特記事項に記載の（ . . . ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。 5) ☒ 印は、「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律（平成12年法律第100号）」に基づく「環境物品等の調達の推進に関する基本方針（令和8年2月3日変更閣議決定）」に定める特定調達物品における判断の基準（特定調達品目「公共工事」においては表1中の品目ごとの判断の基準）を満たすものを示す。															
章	項 目	特 記 事 項															
1 各 章 共 通 事 項	○適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ・風圧力 風速（Vo＝ 34 m/s） 地表面粗度区分 （・Ⅰ ・Ⅱ ○Ⅲ ・Ⅳ） ・積雪荷重 平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（ 十一 ）															
	○施工条件	・施工順序 (1.3.5) [1.3.5] （※現場説明書による ・図示 ） ・工事用車両の駐車場及び資機材の置き場所 ○図示)															
	○環境への配慮	(1.4.1) [1.4.1] 1)建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に次の①から④を満たすものとする。 ① 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しない又は発生が極めて少ない材料で、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。 ② 接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。 ③ 接着剤は、可塑性（フタル酸ジブチル及びフタル酸ジエチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性剤を除く）が添加されていない材料を使用する。 ④ ①の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発生が極めて少ない材料を使用したものとする。															
○材料の品質等		(1.4.2) [1.4.2] 1)本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 2)備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は監督職員の承諾を受ける。 3)標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。 4)本工事に使用する材料のうち、5)に指定する材料の製造業者等は、次の①から⑥の事項を満たすものとし、その証明となる資料（外部機関が発行する証明書の写し等）を監督職員に提出して承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りでない。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。 ③安定的な供給が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。 5)製造業者等に関する資料の提出を求める材料 床型枠用鋼製デッキプレート、鉄骨柱下無収縮モルタル、無収縮グラウト材、乾式保護材、既調合モルタル（タイル工事用）、既調合目地材、ルーフトレン、吸水調整材、錠前類、クローザ類、自動ドア機構、自閉式上吊り引戸（手動開き式）、重量シャッター、軽量シャッター、オーバーヘッドドア、防水剤、現場発泡断熱材、フリーアクセスフロア、可動間仕切、移動間仕切、トイレブース、天井点検口、床点検口、グレーチング、屋上緑化システム、トップライト、ポリマーセメントモルタル、鑄鉄製ふた															
・石綿含有建材の調査		調査 [1.5.1] ※石綿含有建材の事前調査 工事着手に先立ち、あらかじめ関係法令に基づき、石綿含有建材の事前調査を行う。 賞与資料 （・アスベスト関係材料調査票 ・既存図面 ・ ） ・分析による石綿含有建材の調査 分析対象 アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト 分析方法 <table><tr><td></td><td>定性分析方法</td><td>定量分析方法</td></tr><tr><td rowspan="2">材料名</td><td>JIS A 1481-1または JIS A 1481-2</td><td>JIS A 1481-3、 JIS A 1481-4または JIS A 1481-5</td></tr><tr><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr><tr><td></td><td>・ 箇所</td><td>・ 箇所</td></tr></table> サンプル数 1箇所あたり3サンプル 採取箇所 ・ 図示による ・			定性分析方法	定量分析方法	材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3、 JIS A 1481-4または JIS A 1481-5	・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所		・ 箇所	・ 箇所
	定性分析方法	定量分析方法															
材料名	JIS A 1481-1または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3、 JIS A 1481-4または JIS A 1481-5															
	・ 箇所	・ 箇所															
	・ 箇所	・ 箇所															
	・ 箇所	・ 箇所															
・埋設配管・配線及び鉄筋調査		あと施工アンカー工事 6章及び8章による コア抜き、はつり工事等 ※既存資料調査 ・探査機（電磁波レーダ-法又は電磁波誘導法）による探査 配管 ・配線等の位置の墨出を行う範囲 ※図示による ・ ・放射線透過試験 労働安全衛生法、「電離放射線障害防止規制」（昭和47年労働省令第41号）等に定めるところによるほか、次による。 1)作業主任者は、エックス線作業主任者の資格を有するものとし、資格を証明するものとし、資格を証明する資料を監督職員に提出する。 2)放射線照射量は最小限のものとし、照射中は人体に影響のない程度まで照射器より離れる。また、作業者以外の立入禁止措置を講ずる。 3)露出時間は、コンクリートの厚さ等により、適宜調整する。 4)付近にフィルム、磁気ディスク等放射線の影響を受けるものの有無を確認する。 5)躯体の墨出しは、表裏でズレがないように措置を講ずる。 撮影枚数 枚 フィルムサイズ コンクリート厚さ cm															

2

仮設工事

・騒音・粉じん等の対策

・防音パネル
・防音シート

防音パネル等を取り付ける足場等の設置範囲
・図示による

足場等

「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」
（厚生労働省 令和5年12月26日）の「（別紙）手すり先行工法等に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等の作業に関する基準」における2の（1）手すり据置き方式又は（2）手すり先行専用足場方式により行う。

外部足場
○設置する
（設置範囲
・工事に必要な範囲 ○図示による
・設置しない

防護シート
・設置する
（設置範囲
・工事に必要な範囲 ・図示による
・設置しない

内部足場
○設置する
（※脚立、足場板等
・設置しない

・材料、撤去材等の運搬方法
種別（・A種 ○B種 ・C種 ・D種 ・E種）
C種：利用可能なエレベーター
（・図示による
D種：利用可能な階段
（・図示による

・既存部分の養生

養生方法等
・既存部分
養生方法（※ビニルシート、合板
・既存家具、既存設備等
養生方法（※ビニルシート等
・既存ブラインド、カーテン等
養生方法（・ビニルシート等
保管場所（・図示による
・固定された備品、机、ロッカー等の移動
・図示による

既存部分に汚染又は損傷を与えるおそれのある場合は養生を行う。また、万一損傷等を与えた場合は、受注者の責任において速やかに修復等の処置を行う。

・仮設間仕切り

仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所
・図示による

仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填材
・A種	・せっこうボード 種類（・ 厚さ（・ mm ※9.5mm） ・合板 材種（・ 厚さ（・ mm ※9mm）	・無し ・片面	グラスウール 厚さ mm
・B種	・		
※C種	防煙シート		

仮設間仕切りに設ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製 ・	※合板張り程度 ・	・無し ・片面	・か所 ・図示による

3

防水改修工事

○施工数量調査

調査範囲
・図示による ○ 防水範囲

調査方法
・図示による ○ 目視による測定

既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による

調査報告書（提出部数 ○2部
・

○降雨等に対する養生方法（とい共）

○既存防水の処理

既存保護層の撤去
・行う（範囲 ・図示による
・行わない

既存防水層の撤去
・行う（範囲 ・図示による
○行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X）
○行わない

○既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
○図示による

POS工法及びPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

・アスファルト防水

1.6.2、3

調査範囲
・図示による ○ 防水範囲

調査方法
・図示による ○ 目視による測定

既存部分の破壊を行った場合の補修方法
・図示による

調査報告書（提出部数 ○2部
・

※改修標準仕様書3.1.3(5)(7)～(9)による
・

既存保護層の撤去
・行う（範囲 ・図示による
・行わない

既存防水層の撤去
・行う（範囲 ・図示による
○行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去
・行う（・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X）
○行わない

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等
○図示による

POS工法及びPOS工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
※改修標準仕様書3.2.6(4)(g)①～③による

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による

新設防水層（屋根保護絶縁工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート
・P2A	・A-1 ・A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上又は フラットヤンクロス 70g/㎡程度
・P1B	・B-1 ・B-2			・
・P2AI	・AI-1 ・AI-2 ・AI-3		(種類) ※JIS A 9521に 基づく押出法 ポリエチレンフォーム 断熱材3種bA (スリ層付き)	※フラットヤンクロス 70g/㎡程度
・P1BI	・BI-1 ・BI-2		(厚さ)(mm) ・	・

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.3～表3.3.6による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（）mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.3及び表3.3.4による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（）mm以上

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上
床タイル張り ※水下 60mm以上

立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネルⅠ類（厚さ（mm）幅（mm））
・れんが押え（※JIS R 1250
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

新設防水層（屋根露出工法）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
・M4C	・C-1 ・C-2 ・C-3 ・C-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様	・適用する	
・M3D ・POD	・D-1 ・D-2					・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ・DI-2		改修標準仕様書3.3.2(9)(種類) (厚さ)(mm)			・適用する	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.7～表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（）mm以上

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（）mm以上

絶縁断熱工法のルーフトレンドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量
※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・（個）

屋内防水

防水層の種別

改修工法	種別	施工箇所
・P1E ・P2E	・E-1 ・E-2	

保護層
・設ける（※図示による
・設けない
・E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
・
・屋上排水溝
・図示による

3.4.2、3

新設防水層（屋根露出防水）の種別

改修工法	新設種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水	備考
				種類	使用量		
○M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ○AS-J1				改質アスファルトシート類の製造所の仕様	※改質アスファルトシート類の製造所の仕様	○既存防水の上、成形板設置設置 ○脱気装置
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1	図示					・適用する 脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・POAS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3						・適用する 脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・POASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書3.4.2(3)(7)(種類) (厚さ)(mm)				・適用する 脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（）mm以上














粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
○JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（ 3.5 ）mm以上

部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書 表3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料による区分 ※R種
厚さ（）mm以上

立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度

絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※改質アスファルトシート類の製造所の指定
・
設置数量
※改質アスファルトシート類の製造所の指定
・（個）

絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する
・設置しない

6 内装 改修工事	・改修範囲	[6. 1. 3] 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示による 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示による	・造作用集成材	[6. 5. 2] ・ JAS 1152 に基づく造作用集成材  <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>見付け材面 (面数)</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td></tr></table> ・ JAS 1152 に基づく化粧ばり造作用集成材  <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>材種名</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>見付け材面 (面数)</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th></tr><tr><td></td><td></td><td>化粧薄板 ： 芯材 ：</td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td></tr><tr><td></td><td></td><td>化粧薄板 ： 芯材 ：</td><td></td><td></td><td></td><td>※1等 ・2等</td></tr></table> ・ JAS 1152 以外の造作用集成材  <table><tr><th>施工箇所</th><th>材種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td></tr></table> ・ JAS 1152 以外の化粧ばり造作用集成材  <table><tr><th>施工箇所</th><th>材種名</th><th>寸法 (mm)</th><th>化粧薄板の厚さ (mm)</th><th>見付け材面の品質</th><th>含水率</th></tr><tr><td></td><td>化粧薄板 ： 芯材 ：</td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td></tr><tr><td></td><td>化粧薄板 ： 芯材 ：</td><td></td><td></td><td></td><td>※15%以下 ・</td></tr></table>	施工箇所	品名	樹種名	見付け材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材面の品質						※1等 ・2等						※1等 ・2等	施工箇所	品名	材種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材面の品質			化粧薄板 ： 芯材 ：				※1等 ・2等			化粧薄板 ： 芯材 ：				※1等 ・2等	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率					※15%以下 ・					※15%以下 ・	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率		化粧薄板 ： 芯材 ：				※15%以下 ・		化粧薄板 ： 芯材 ：				※15%以下 ・	・合板等	[6. 5. 2] ・ JAS 3079 に基づく直交集成板  <table><tr><th>施工箇所</th><th>品名</th><th>樹種名</th><th>強度等級 (曲げ性能)</th><th>種別</th><th>接着性能 (使用環境)</th><th>寸法 (mm)</th></tr><tr><td></td><td>・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板</td><td></td><td></td><td>・A種構成 ・B種構成</td><td>・A ・B ・C</td><td></td></tr></table> ・ JAS 0233 に基づく普通合板  <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程度</th><th>板面の品質</th><th>単板の樹種名</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td></td><td>※5. 5 ・</td><td>※1類 ・2類</td><td>広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・</td><td></td><td>・適用する () ・適用しない</td></tr><tr><td></td><td>※5. 5 ・</td><td>※1類 ・2類</td><td>広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・</td><td></td><td>・適用する () ・適用しない</td></tr></table> ・ JAS 0233 に基づく構造用合板  <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程度</th><th>等級</th><th>板面の品質</th><th>曲げ強度 (強度等級)</th><th>防虫処理</th><th>単板の樹種名</th></tr><tr><td></td><td>※12 ・</td><td>※1類 ・特類</td><td>・1級 ※2級以上</td><td>※C-D以上 ・</td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td></tr><tr><td></td><td>※12 ・</td><td>※1類 ・特類</td><td>・1級 ※2級以上</td><td>※C-D以上 ・</td><td></td><td>・適用する ・適用しない</td><td></td></tr></table> 屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。 ・ JAS 0233 に基づく化粧ばり構造用合板  <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>単板の樹種名</th><th>接着の程度</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・特類 ・1類</td><td>・適用する () ・適用しない</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>・特類 ・1類</td><td>・適用する () ・適用しない</td></tr></table> 屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。 ・ JAS 0233 に基づく天然木化粧合板  <table><tr><th>施工箇所</th><th>厚さ (mm)</th><th>接着の程度</th><th>化粧板に使用する単板の樹種名</th><th>防虫処理</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・1類 ・2類</td><td></td><td>・適用する () ・適用しない</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・1類 ・2類</td><td></td><td>・適用する () ・適用しない</td></tr></table>	施工箇所	品名	樹種名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	寸法 (mm)		・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板			・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C		施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理		※5. 5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・		・適用する () ・適用しない		※5. 5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・		・適用する () ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度 (強度等級)	防虫処理	単板の樹種名		※12 ・	※1類 ・特類	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない			※12 ・	※1類 ・特類	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない		施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理				・特類 ・1類	・適用する () ・適用しない				・特類 ・1類	・適用する () ・適用しない	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理			・1類 ・2類		・適用する () ・適用しない			・1類 ・2類		・適用する () ・適用しない	・接合具等	[6. 5. 3] 造作材の化粧面の釘打ち ※隠し釘打ち ・釘頭埋め木 ・つぶし頭釘打ち ・釘頭現し 諸金物の形状、寸法及び材質 かすがい ※改修標準仕様書 表6. 5. 3に示す程度の市販品 ・ 座金 ※改修標準仕様書 表6. 5. 4に示す程度の市販品 ・ 箱金物及び短冊金物 ※改修標準仕様書 表6. 5. 5に示す程度の市販品 ・	・接着剤	[6. 5. 3、4] 接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※F☆☆☆☆ ・
	施工箇所	品名	樹種名	見付け材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																																		
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																		
						※1等 ・2等																																																																																																																																																																		
	施工箇所	品名	材種名	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面 (面数)	寸法 (mm)	見付け材面の品質																																																																																																																																																																	
			化粧薄板 ： 芯材 ：				※1等 ・2等																																																																																																																																																																	
			化粧薄板 ： 芯材 ：				※1等 ・2等																																																																																																																																																																	
	施工箇所	材種名	寸法 (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																			
					※15%以下 ・																																																																																																																																																																			
					※15%以下 ・																																																																																																																																																																			
施工箇所	材種名	寸法 (mm)	化粧薄板の厚さ (mm)	見付け材面の品質	含水率																																																																																																																																																																			
	化粧薄板 ： 芯材 ：				※15%以下 ・																																																																																																																																																																			
	化粧薄板 ： 芯材 ：				※15%以下 ・																																																																																																																																																																			
施工箇所	品名	樹種名	強度等級 (曲げ性能)	種別	接着性能 (使用環境)	寸法 (mm)																																																																																																																																																																		
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板			・A種構成 ・B種構成	・A ・B ・C																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理																																																																																																																																																																			
	※5. 5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・		・適用する () ・適用しない																																																																																																																																																																			
	※5. 5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・		・適用する () ・適用しない																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度 (強度等級)	防虫処理	単板の樹種名																																																																																																																																																																	
	※12 ・	※1類 ・特類	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																		
	※12 ・	※1類 ・特類	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ (mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理																																																																																																																																																																				
			・特類 ・1類	・適用する () ・適用しない																																																																																																																																																																				
			・特類 ・1類	・適用する () ・適用しない																																																																																																																																																																				
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理																																																																																																																																																																				
		・1類 ・2類		・適用する () ・適用しない																																																																																																																																																																				
		・1類 ・2類		・適用する () ・適用しない																																																																																																																																																																				
・既存床の撤去及び下地補修	[6. 2. 2] ビニル床シート等の除去 ※仕上材のみ（接着剤とも） ・下地モルタルとも（・図示による ・除去範囲全て） 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書 4章 外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示による ・	[6. 3. 2] 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4. 3. 10によるモルタル塗り （全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示による） ・	[6. 5. 1] 見え掛り面の表面仕上げる程度 ※ブレーナー加工仕上げ 適用部材（部位）（ ） ・超自動機械かんな掛け仕上げ 適用部材（部位）（ ） ・サンダー掛け仕上げ 適用部材（部位）（ ）	[6. 5. 2] 材料のホルムアルデヒド放散量 ※改修標準仕様書6. 5. 2(1) (ウ)による ・	[6. 5. 1] [6. 5. 6～9] ・ JAS 1083-5 に基づく下地用製材  <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>等級 (材面の品質)</th><th>寸法 (mm)</th><th>含水率</th><th>保存 処理</th></tr><tr><td></td><td></td><td>・ ※2級</td><td></td><td>※A種 ・B種</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>・ ※2級</td><td></td><td>※A種 ・B種</td><td>・</td></tr></table> ・ JAS 1083-2 に基づく造作用製材  <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>等級 (材面の品質)</th><th>寸法 (mm)</th><th>含水率</th><th>保存 処理</th></tr><tr><td>見え掛り面</td><td></td><td>※上小節 ・</td><td></td><td>※A種 ・B種</td><td>・</td></tr><tr><td>見え掛り面 以外</td><td></td><td>※小節以上 ・</td><td></td><td>※A種 ・B種</td><td>・</td></tr></table> ・ JAS 1083-6 に基づく広葉樹製材  <table><tr><th>施工箇所</th><th>樹種名</th><th>等級 (材面の品質)</th><th>寸法 (mm)</th><th>含水率</th><th>保存 処理</th></tr><tr><td></td><td></td><td>※1等 ・</td><td></td><td>※10%以下 ・A種 ・B種</td><td>・</td></tr><tr><td></td><td></td><td>※1等 ・</td><td></td><td>※10%以下 ・A種 ・B種</td><td>・</td></tr></table> ・ JAS 1083（製材）以外の製材  <table><tr><th>施工箇所</th><th>寸法 (mm)</th><th>材面の品質</th><th>防虫処理の適用</th><th>含水率</th></tr><tr><td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A種 ・B種)</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種 ・B種</td></tr><tr><td></td><td></td><td>() 造作材の場合 (※A種 ・B種)</td><td>・適用する ・適用しない</td><td>※A種 ・B種</td></tr></table>	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理			・ ※2級		※A種 ・B種	・			・ ※2級		※A種 ・B種	・	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理	見え掛り面		※上小節 ・		※A種 ・B種	・	見え掛り面 以外		※小節以上 ・		※A種 ・B種	・	施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理			※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種	・			※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種	・	施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率			() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種			() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種																																																																																														
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理																																																																																																																																																																			
		・ ※2級		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																			
		・ ※2級		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理																																																																																																																																																																			
見え掛り面		※上小節 ・		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																			
見え掛り面 以外		※小節以上 ・		※A種 ・B種	・																																																																																																																																																																			
施工箇所	樹種名	等級 (材面の品質)	寸法 (mm)	含水率	保存 処理																																																																																																																																																																			
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種	・																																																																																																																																																																			
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種	・																																																																																																																																																																			
施工箇所	寸法 (mm)	材面の品質	防虫処理の適用	含水率																																																																																																																																																																				
		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種																																																																																																																																																																				
		() 造作材の場合 (※A種 ・B種)	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種																																																																																																																																																																				
・既存壁の撤去及び下地補修																																																																																																																																																																								
・木下地等の表面仕上げ																																																																																																																																																																								
・木材の施工一般																																																																																																																																																																								
・製材																																																																																																																																																																								

6

内装改修工事

・防腐・防蟻
防虫処理等

・工場における薬剤の加圧注入等 [6.5.5]
・改修標準仕様書 6.5.5(1)(a)①による加圧注入
適用部材保存処理性能区分

	・K2	・K3	・K4
	・K2	・K3	・K4

・改修標準仕様書 6.5.5(1)(a)②による加圧式保存処理
保存処理の性能（ ）
インサイジング ・適用する ・適用しない
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
薬剤の種類
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)①による
・附属書A(規定)に基づく表面処理用木材保存剤による
・
適用部材（部位） ・図示による
処理方法 ※改修標準仕様書 6.5.5(1)(b)②に
による
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部材（部位） ・図示による
・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等による
K3防腐・防蟻処理
適用部材（部位） ・図示による
・不燃処理木材等
不燃材料
適用部材（部位） ・図示による
準不燃材料
適用部材（部位） ・図示による
難燃材料
適用部材（部位） ・図示による
・内部間仕切軸組
及び床組み
・窓、出入口
その他
・床板張り
・壁及び天井下地
・軽量鉄骨
天井下地

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名 [6.5.6]
（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び
転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材 ・
・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 [6.5.7]
（製材を用いる場合）
※吊元杵、水掛りの下枠及び敷居はひのき、
その他は松又は杉
・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名 [6.5.8]
（製材を用いる場合）
※ひのき ・
・壁胴縁、野縁受棧、野縁及び吊木に用いる [6.5.9]
木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・
野縁等の種類 [6.6.2～4]
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による ・
周辺部の端からの間隔
・図示による ・
野縁の間隔
・図示による ・
既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所
・（ ）箇所
引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ
天井面構成部材等の単位面積当たりの重量が
20kg/m²以内の天井の場合は400N程度
・（ ）N
・行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法 ※図示による ・）

・軽量鉄骨壁下地
・ビニル床シート
・ビニル床タイル
・特殊機能床材

スタッド、ランナの種類 [6.7.3、4][表6.7.1]
※改修標準仕様書 表6.7.1によるスタッドの高さによる
区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4.(5)による
・
[6.8.2、3]

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
※FS(複層ビニル床シート) ・	・無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ・	

接合部の処理
熱溶接工法 ・
[6.8.2]

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
※KT(コンポジションビニル床タイル) ・	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・2.5 ・3.0 ・	
・TT(単層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT(複層ビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0 ・	
・FOA(置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	・無地 ・柄物	・	・	

・帯電防止床シート [6.8.2]
種類（ ）
性能（ ）
厚さ(mm)（ ）
・帯電防止床タイル
種類（ ）
性能（ ）
寸法(mm)（ × ）
厚さ(mm)（ ）
・視覚障害者用床タイル
視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及び
その配列はJIS T 9251による。
種類（ ）
形状（ ）
・耐動荷重性床シート
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）
・防滑性床シート
種類（ ）
厚さ(mm)（ ）

・防滑性床タイル
種類（ ）
寸法(mm)（ × ）
厚さ(mm)（ ）
・接着剤 [6.8.2]
・ビニル幅木 [6.8.2]
材質の種類
・軟質 ・硬質
高さ(mm)
※60 ・75 ・100
厚さ(mm)
※1.5以上 ・
・ゴム床タイル [6.8.2]
種類
・単層品 ・積層品
色柄（ ）
厚さ（ mm）
寸法(mm)（ × ）
・下地の工法 [6.8.3]
改修標準仕様書6.8.3(1)(7)～(9) 以外の下地の工法
・図示による ・
・カーペット敷き
織じゅうたん [6.9.2、3][表6.9.1]

織り方	パイル形状	備考 (参考価格)
・ウィルトンカーペット ・フェイスクフェイスカーペット ・アキズミスターカーペット	・カットパイル ・ルーフパイル ・カット/ルーフパイル	

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
・
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
・タフテッドカーベット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考 (参考価格)
・カットパイル ・	・5～7 ・	・全面接着工法	・適用する	
・ルーフパイル ・	・4～6 ・	・グリッパ-工法	・適用しない	
・カット/ルーフ併用 ・				

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーベット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

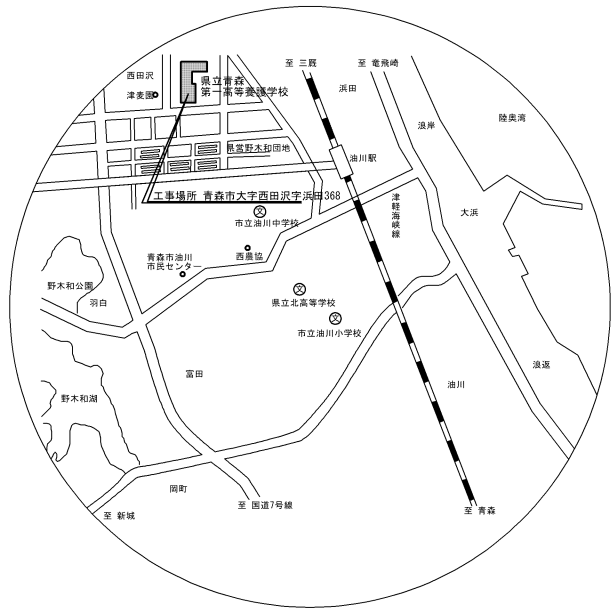
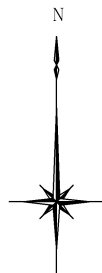
・タイルカーベツト

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考 (参考価格)
※ルーフパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット/ルーフ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

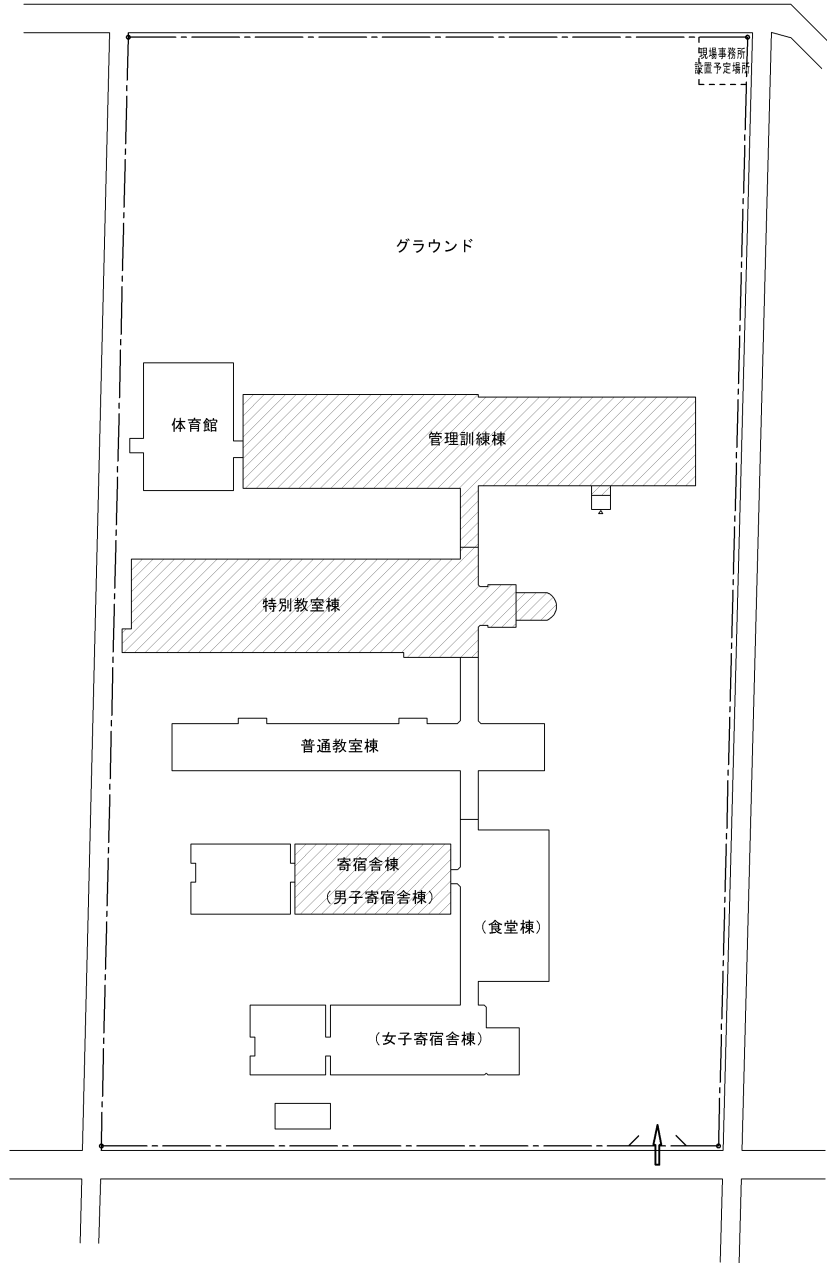
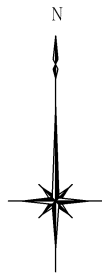
タイルカーベツト用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
タイルカーベツトの敷き方
平場
※市松敷き ・模様流し ・
階段部分
※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※図示による ・
[6.10.2、3]

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し 仕上げ
・厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		・薄膜流しのペ工法 ・厚膜流しのペ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
[6.11.2～6]
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
・単層フローリング（フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら ・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・単層フローリング（フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない
・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら ・
種別
・A種 ・B種 ・C種
間伐材等の適用
・適用する ・適用しない



案 内 図



配 置 図 1/800

建物概要

工事場所	青森市大字西田沢字浜田 地内		
地域地区	都市計画区域内 市街化調整区域		
防火指定	指定なし		
主要用途	特別支援学校		
構造規模	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 1階建て 一部2階建て		
敷地面積	30,839.39㎡		
建築面積	7,291.94㎡		
延床面積	1階床面積：7,235.701㎡ 2階床面積：51.06㎡ 延床面積：7,286.76㎡		

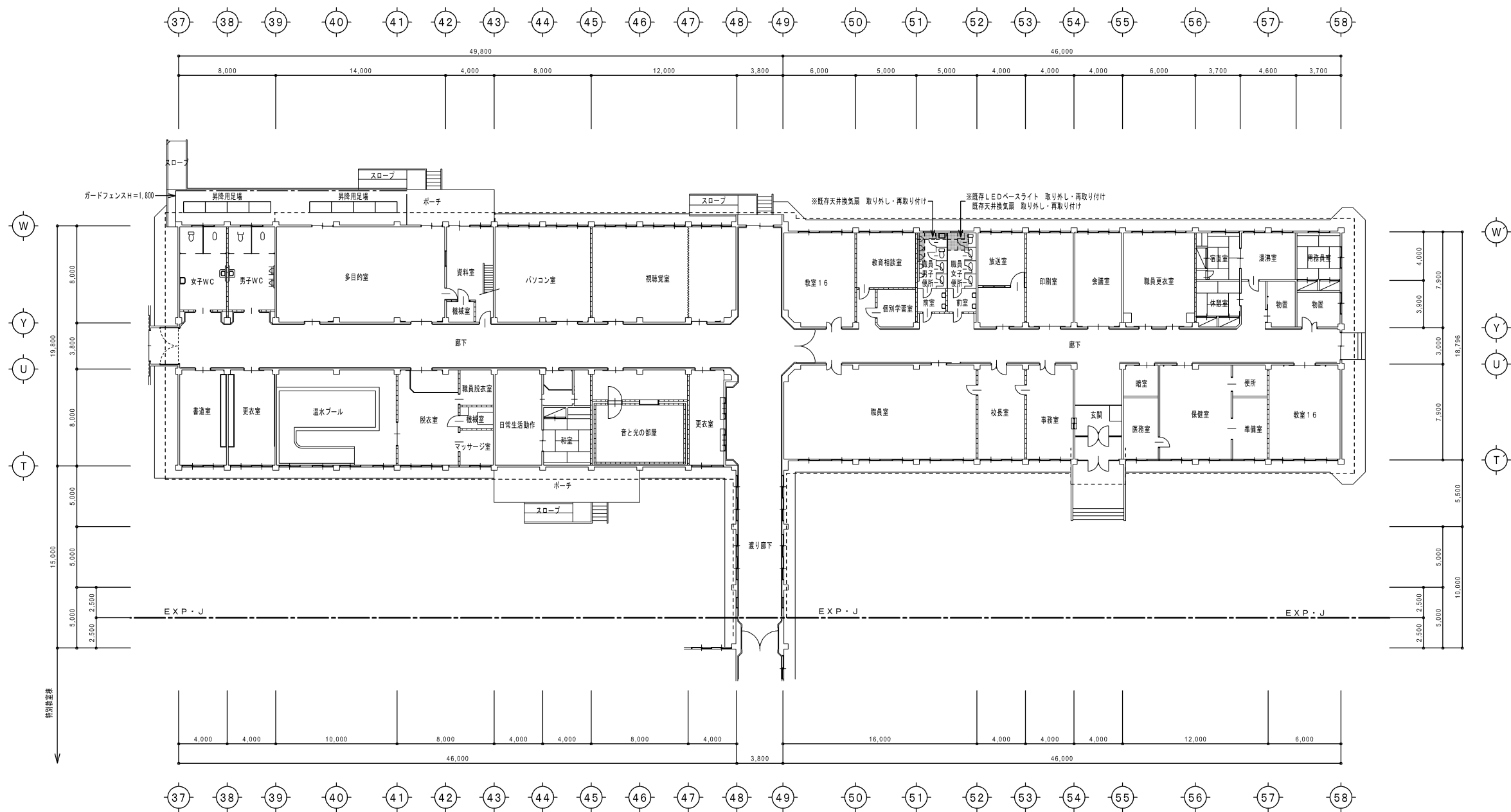
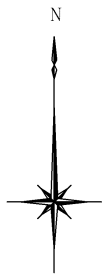
A1：1／800、A3：1／1600

外 部 仕 上 表

名 称	改 修 前	改 修 後		備 考
		補修及び撤去	仕上及び新設	
陸 屋 根	屋上平場：アスファルト防水の上、押えコンクリート、樹脂モルタルt＝3の上、ウレタン塗膜防水（ノンスリップ型）、ステンレス製脱気筒 25ヶ所 パラベット及び天端・立上り：コアスファルト防水の上、押えコンクリート、樹脂モルタルt＝3の上、ウレタン塗膜防水、アルミ製水切り、アルミ製笠木、アルミ水切り廻りシール ルーフドレン：ステンレス製（改修型）100φ 21ヶ所 トップライト2段笠木廻りシール、ベンチレーター廻りシール	屋上平場：ルーフドレン側溝部防水層 W＝400撤去及びモルタル金ゴテW＝400 t＝40～20、既存防水 高圧洗浄 既存防水層不具合部補修。 既存ステンレス製脱気筒 25ヶ所 撤去 パラベット及び天端・立上り：既存防水 高圧洗浄、既存アルミ製笠木（ホルダー共）、取り外し、既存アルミ製水切り 取り外し、水切り廻りシール撤去 ルーフドレン：ステンレス製（改修型）100φ 21ヶ所 取り外し トップライト2段笠木廻りシール 撤去、ベンチレーター廻りシール 撤去	屋上平場：既存防水の上、透気絶縁用改質アスファルト成型板 t＝4.0 設置、改質アスファルトシート防水 t＝3.5（着色済・単層張り） 新設、立上り用脱気筒 39ヶ所 新設、ステンレス製（改修型）100φ 18ヶ所、再取り付け パラベット及び天端・立上り：既存防水の上、改質アスファルトシート防水 t＝3.5（着色済・単層張り） 新設、立上り防水端未押え金物（塔屋及びトップライト、ベンチレーター アルミ製フラットバー） 新設 ルーフドレン：ステンレス製（改修型）100φ 21ヶ所 再取り付け トップライト2段笠木廻りシール 新設、ベンチレーター廻りシール 新設	

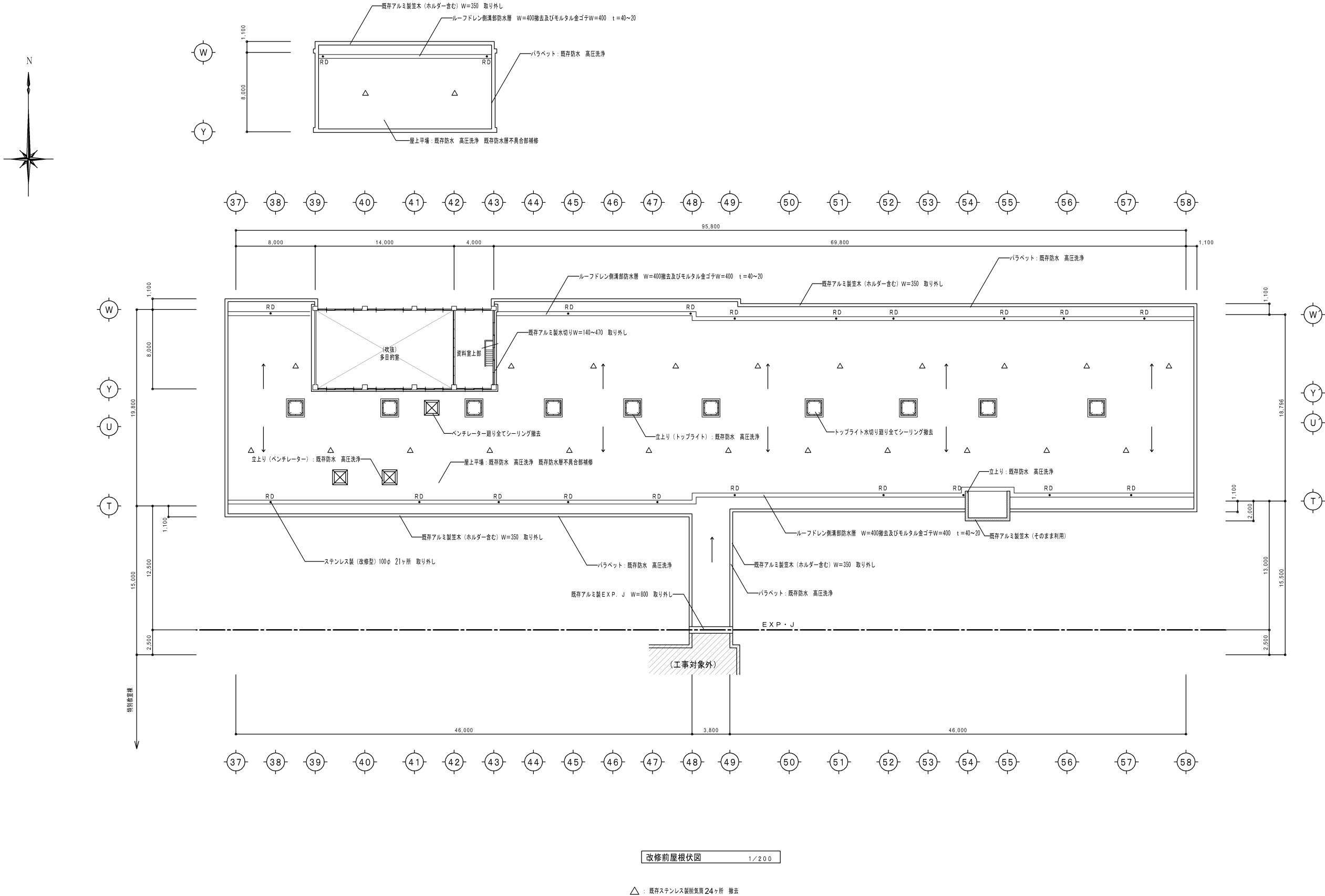
内 部 仕 上 表

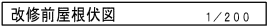
階数	室 名		床		巾 木		壁		天 井		廻 縁	天 井 高	備 考
			下 地	仕 上	材 質	塗 装	下 地	仕 上	下 地	仕 上			
1 階	職員用便所 （男子・女子）	改修前仕上	_____	_____	_____		_____	_____	L G S又は木組	化粧石膏ボード t＝9（910×910）	塩ビ廻縁	2.560	
		補修 及び 撤去	_____	_____	_____		_____	_____	L G S又は木組（そのまま利用）	一部 化粧石膏ボード t＝9（910×910） 撤去（雨漏れ部分）	一部 塩ビ廻縁 撤去		
		仕上 及び 新設 （改修後）	_____	_____	_____		_____	_____	L G S又は木組（そのまま利用）	一部 化粧石膏ボード t＝9.5（910×910） 新設（雨漏れ部分） ※既存天井と同じ仕様に変更	一部 塩ビ廻縁 新設		

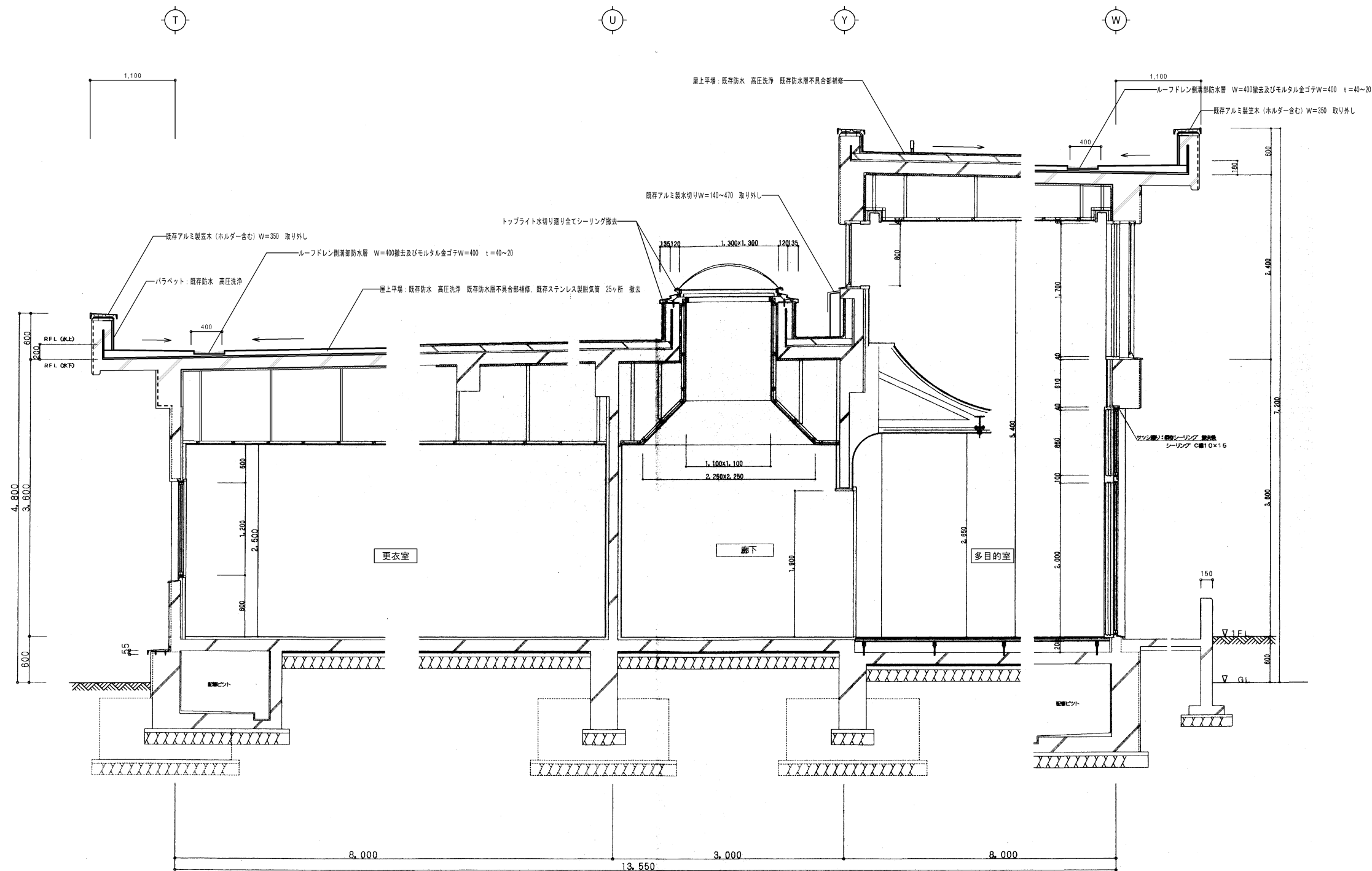


一部 既存化粧石膏ボードt=9+VP塗装 910×910 撤去 (雨漏れ部分)
一部 化粧石膏ボードt=9.5 910×910 新設 (雨漏れ部分)


管理・訓練棟平面図 1/200

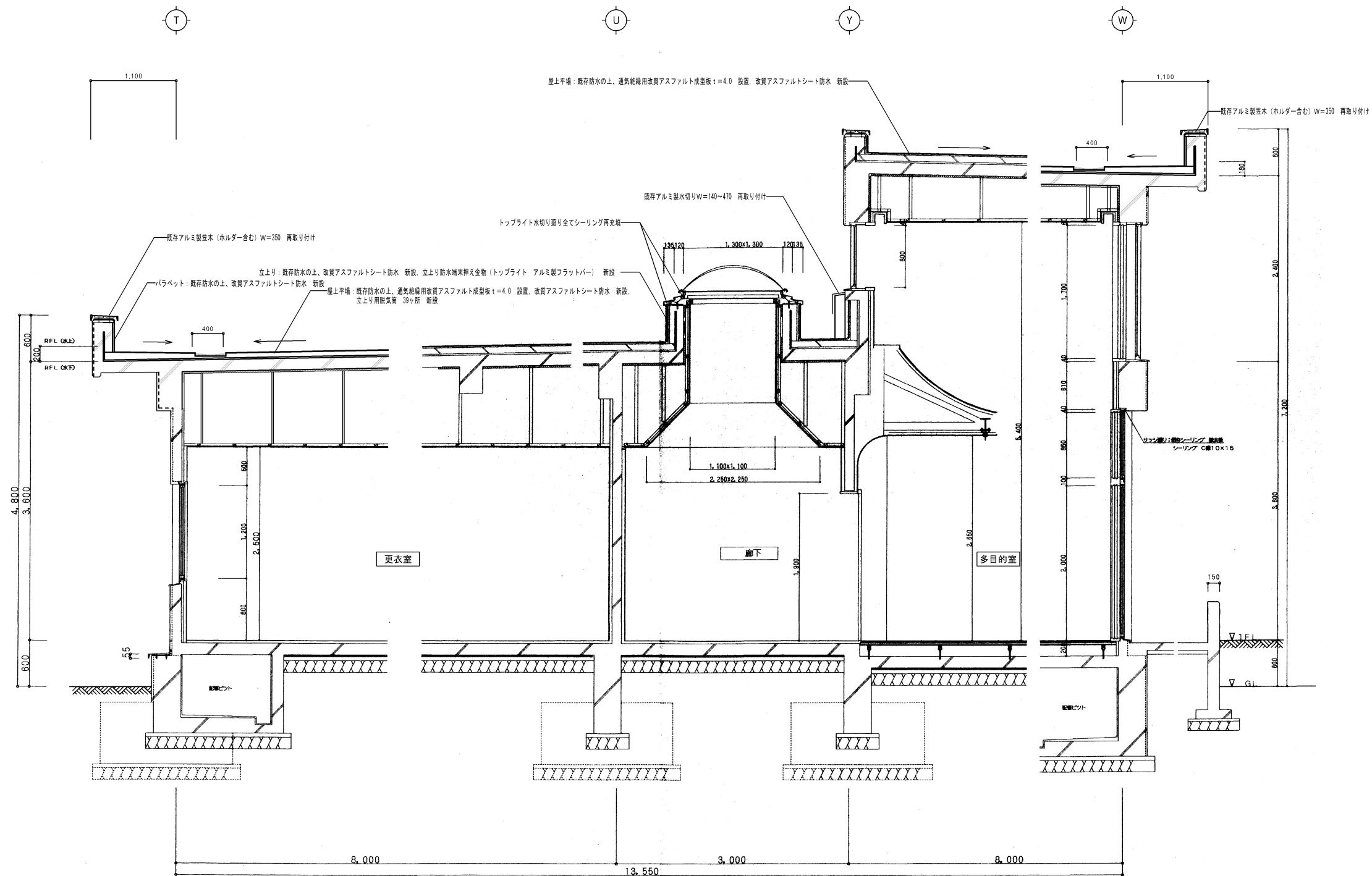






A1: 1/30, A3: 1/60

 <div>株式会社 たいら山口設計 IMA 〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12 TEL 017-741-5084 FAX 017-742-3103</div>	管 理 建 築 士	一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号 株式会社 たいら山口設計 IMA 建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡	承 認	担 当 ・ 製 図	設計年月日	工 事 名	図 面 名	縮 尺	整 理 NO.	図 面 NO.
					令和 7年12月 日	青森第一高等養護学校屋上防水改修工事	改修前矩計図 (管理訓練棟)	1/30	管 A	5



株式会社
たいら山口設計 IMA
〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12
TEL 017-741-5084
FAX 017-742-3103

管 理 一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号
建 築 士 株式会社 たいら山口設計 IMA
建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡

承認

担当・製図

設計年月日

工事名

図面名

A1:1/30, A3:1/60

縮尺

整理NO.

図面NO.

令和7年12月 日

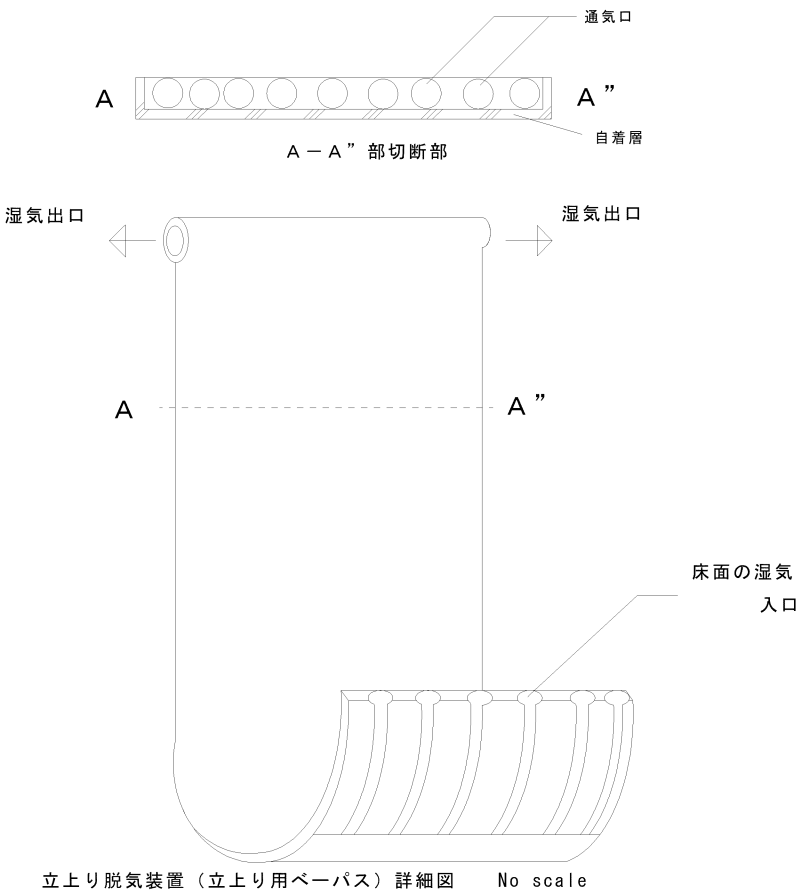
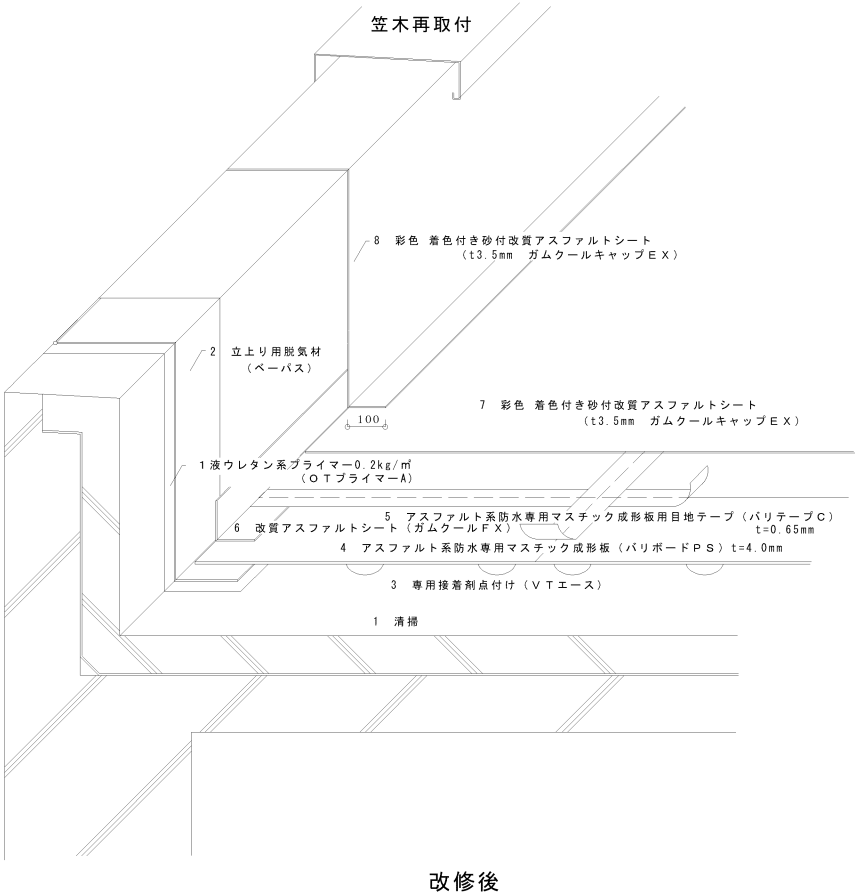
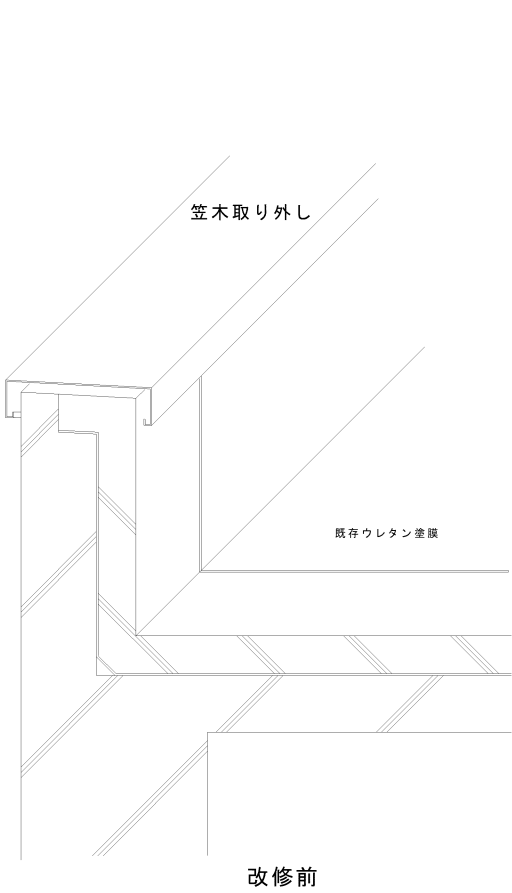
青森第一高等養護学校屋上防水改修工事


改修前矩計図（管理訓練棟）

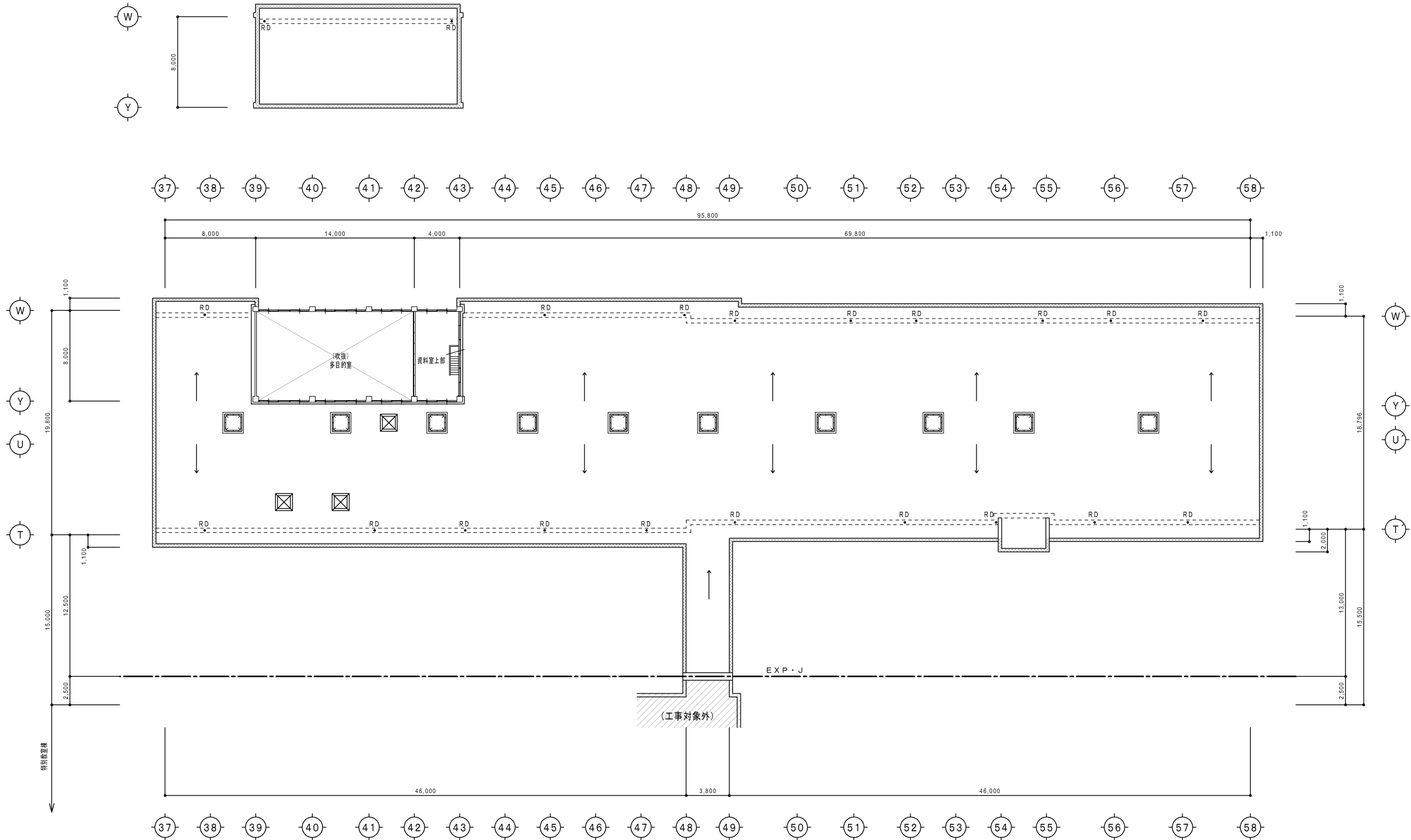
1/30

管 A

6



	株式会社 たいら山口設計 IMA 〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12 TEL 017-741-5084 FAX 017-742-3103	管 理 建 築 士	一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号 株式会社 たいら山口設計 IMA 建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡	承 認	担 当 ・ 製 図		設 計 年 月 日	工 事 名	図 面 名	縮 尺	整 理 NO.	図 面 NO.
							令和 7年12月 日	青森第一高等養護学校屋上防水改修工事	防水詳細図（管理訓練棟）（参考図）	1/10	管 A	7



屋根伏図 1/200

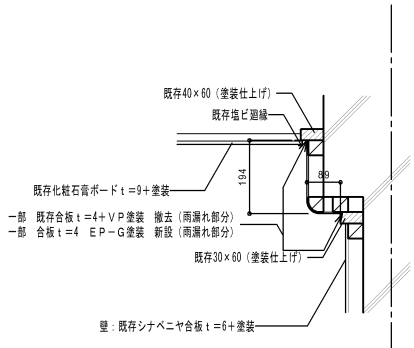
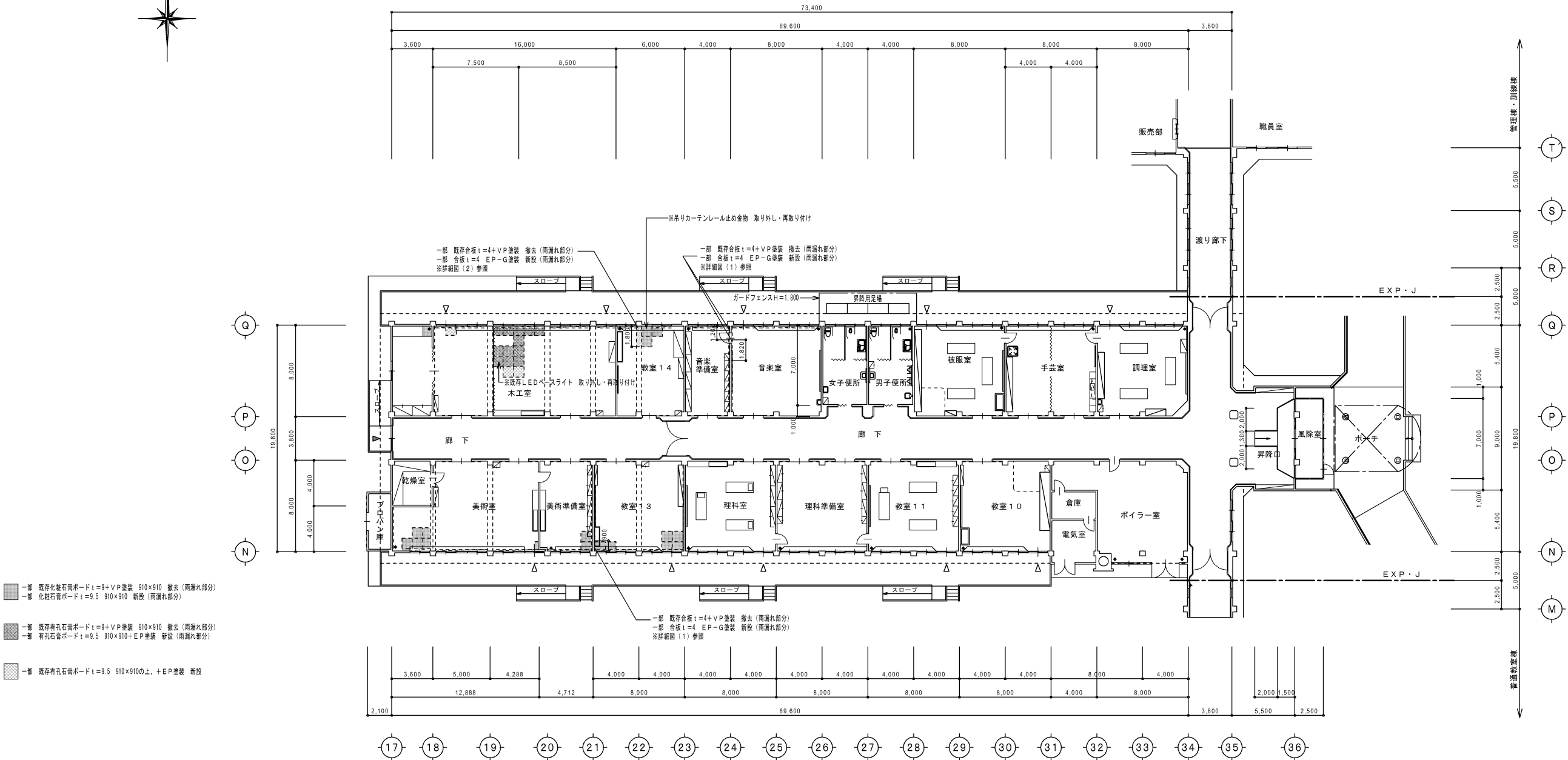
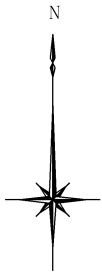
落下防止パラペット手摺（パラペット手すり+単管2段）※施工状況に応じて設置位置変更をすること

外 部 仕 上 表

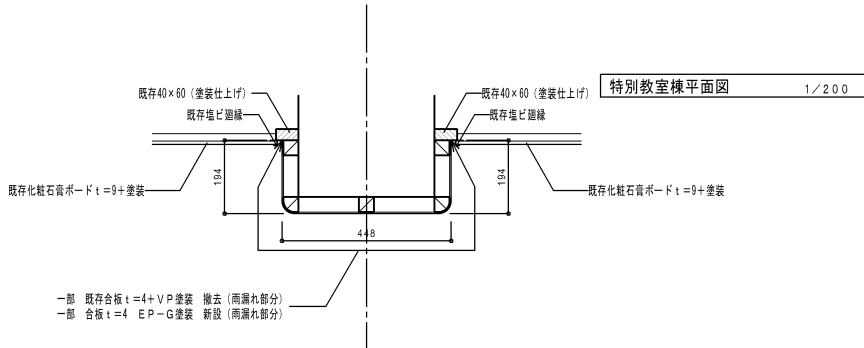
名 称	改 修 前	改 修 後		備 考
		補修及び撤去	仕上及び新設	
陸 屋 根	屋上平場（ポーチ部分除く）：アスファルト防水の上、押えコンクリート、樹脂モルタルt＝3の上、ウレタン塗膜防水（ノンスリップ型）、ステンレス製脱気筒 19ヶ所 パラベット及び天端・立上り（ポーチ部分除く）：コアスファルト防水の上、押えコンクリート、樹脂モルタルt＝30の上、ウレタン塗膜防水、アルミ製水切り、アルミ製笠木、アルミ水切り廻りシール 屋上平場（ポーチ部分）：コンクリート直押エ H＝80の上、ウレタン塗膜防水（非歩行用、絶縁工法、ステンレス製脱気筒 1ヶ所 パラベット及び天端・立上り（ポーチ部分）：コンクリート直押エW＝120の上、ウレタン塗膜防水（非歩行用、絶縁工法） 笠木（ポーチ部分）：フッ素樹脂塗装鋼板 t＝1.6 W＝200加工（一部R加工）、ポーチ部分：既装アルミ製エキスパンションジョイント W＝435（小口カバー付） ルーフドレン：ステンレス製（改修型）100φ 16ヶ所 ポーチ部分 2ヶ所 トップライト2段笠木廻りシール、ベンチレーター廻りシール	屋上平場（ポーチ部分除く）：ルーフドレン側溝部防水層 W＝400撤去及びモルタル補修W＝400、既存防水 高圧洗浄 既存防水層不具合部補修、 既存ステンレス製脱気筒 19ヶ所 撤去 パラベット及び天端・立上り（ポーチ部分除く）：既存防水 高圧洗浄、既存アルミ製笠木（ホルダー共）、取り外し、既存アルミ製水切り 取り外し、水切り廻りシール撤去 屋上平場（ポーチ部分）：既存防水 高圧洗浄 既存防水層不具合部補修、既存ステンレス製脱気筒 1ヶ所 撤去 パラベット及び天端・立上り（ポーチ部分）：既存防水 高圧洗浄 既存防水層不具合部補修 笠木（ポーチ部分）：フッ素樹脂塗装鋼板 t＝1.6 W＝280（そのまま利用）、ポーチ部分：既装アルミ製エキスパンションジョイント W＝435（小口カバー付） 撤去 ルーフドレン：ステンレス製（改修型）100φ 16ヶ所 取り外し、ポーチ部分 2ヶ所取り外し トップライト2段笠木廻りシール 撤去、ベンチレーター廻りシール 撤去	屋上平場（ポーチ部分除く）：既存防水の上、通気絶縁用改質アスファルト成型板 t＝4.0 設置、改質アスファルトシート防水 t＝3.5（着色済・単層張り） 新設、 立上り用脱気筒 28ヶ所 新設 パラベット及び天端・立上り（ポーチ部分除く）：既存防水の上、改質アスファルトシート防水 t＝3.5（着色済・単層張り） 新設、立上り防水端末押え金物（塔屋及びトップライトアルミ製フラットバー） 新設 屋上平場（ポーチ部分）：既存防水の上、通気絶縁用改質アスファルト成型板 t＝4.0 設置、改質アスファルトシート防水 t＝3.5（着色済・単層張り） 新設、 立上り用脱気筒 1ヶ所 新設 パラベット及び天端・立上り（ポーチ部分）：既存防水及び既存笠木（フッ素樹脂塗装鋼板 t＝1.6）の上、改質アスファルトシート防水 t＝3.5（着色済・単層張り） 新設 笠木（ポーチ部分）：既存フッ素樹脂塗装鋼板の上、アルミ製笠木 W＝325（一部R加工） 新設 ポーチ部分：アルミ製エキスパンションジョイント W＝435（小口垂加工付き） 新設 ルーフドレン：ステンレス製（改修型）100φ 16ヶ所 再取り付け ポーチ部分 2ヶ所 再取り付け トップライト2段笠木廻りシール 新設	
その他	トップライト アクリルドーム 1300×1300×9ヶ所（アルミフレーム止め）※既存はタキロン(株)設置	トップライト アクリルドーム 1300×1300×1ヶ所（ボルト・パッキン） 撤去※ポリカ複層板は再利用	トップライト アクリルドーム 1300×1300×1ヶ所（ボルト・パッキン共） 新設 ※ポリカ複層板は再利用	

内 部 仕 上 表

階数	室 名		床		巾 木		壁		天 井		廻 縁	天 井 高	備 考
			下 地	仕 上	材 質	塗 装	下 地	仕 上	下 地	仕 上			
1階	音楽室 音楽準備室 教室14 木工室 美術室 美術準備室 教室13	改修前仕上	_____	_____	_____		_____	_____	LGS又は木組	化粧石膏ボード t＝9（910×910） 有孔石膏ボード t＝9＋E P 塗装（910×910） 塗装：合板 t＝4＋V P 塗装	塩ビ建縁	3,000	
		補修 及び 撤去	_____	_____	_____		_____	_____	LGS又は木組（そのまま利用）	一部 化粧石膏ボード t＝9（910×910） 撤去（雨濡れ部分） 一部 有孔石膏ボード t＝9＋E P 塗装（910×910） 撤去（雨濡れ部分） 塗装：一部 合板 t＝4＋V P 塗装 撤去（雨濡れ部分）	一部 塩ビ建縁 撤去		
		仕上 及び 新設 （改修後）	_____	_____	_____		_____	_____	LGS又は木組（そのまま利用）	一部 化粧石膏ボード t＝9.5（910×910） 新設（雨濡れ部分） 一部 有孔石膏ボード t＝9.5＋E P 塗装（910×910） 新設（雨濡れ部分） 塗装：一部 合板 t＝4＋E P＋G 塗装 新設（雨濡れ部分） ※既存天井と同じ仕様へ復旧	一部 塩ビ建縁 新設		



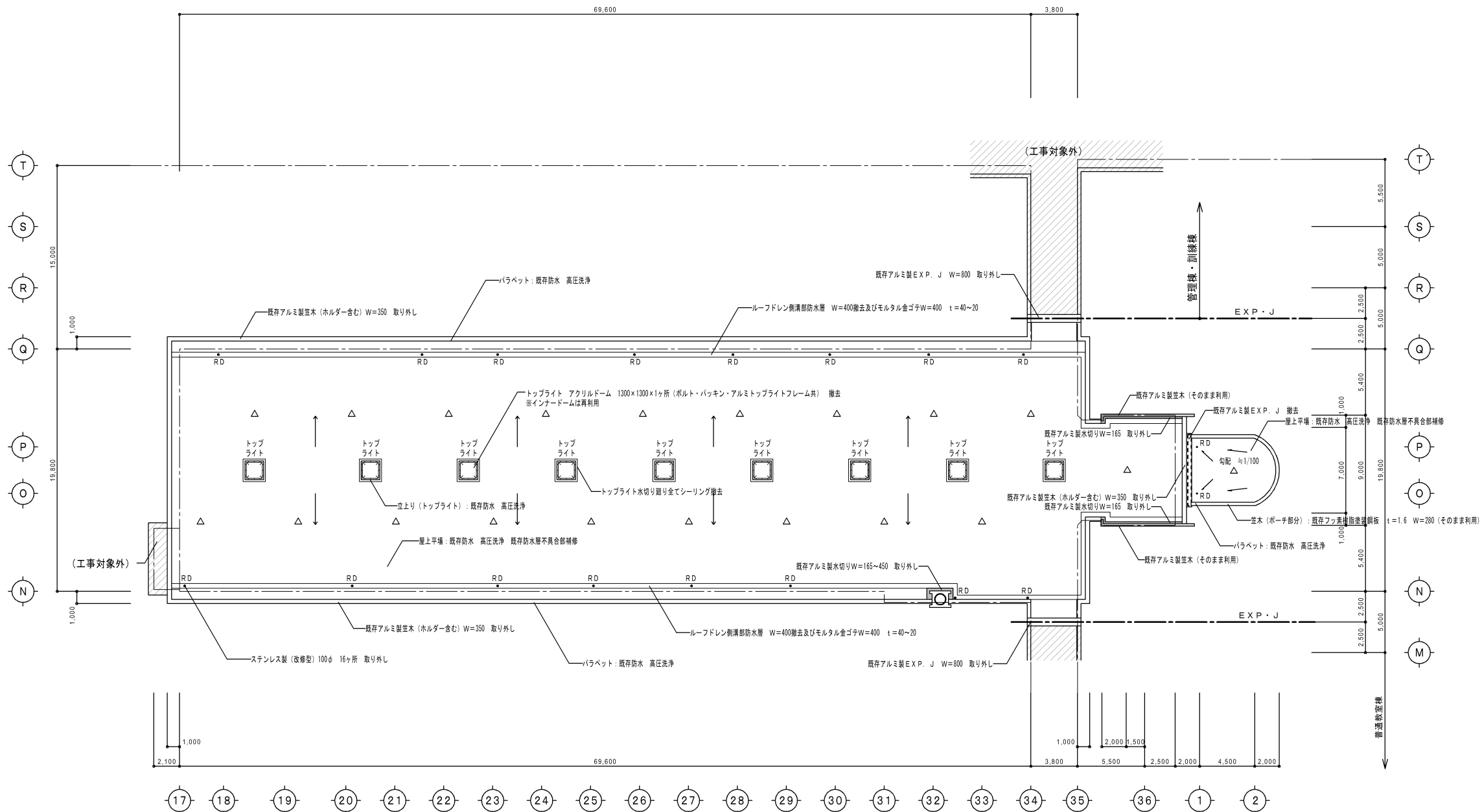
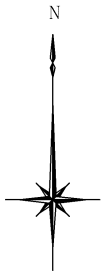
梁型部分詳細図 (1) 1/10



梁型部分詳細図 (2) 1/10

<div><div><div><div></div><div>株式会社</div><div>たいら山口設計 IMA</div><div>〒030-0903 青森市米町1丁目15の12</div><div>TEL 017-741-5084 FAX 017-742-3103</div></div><div>管 理 一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号 建 築 士 株式会社 たいら山口設計 IMA 建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡</div></div></div>										A1: 1/200, A3: 1/400	
承認	担当・製図	設計年月日	工事名	図面名	縮尺	整理NO.	図面NO.				
		令和 7年12月 日	青森第一高等養護学校屋上防水改修工事	平面図（特別教室棟）	1/200	教A	2				

A1: 1/200, A3: 1/400



改修前屋根伏図 1/200

△ : 既存ステンレス製脱気筒 20ヶ所 撤去

A1 : 1/200, A3 : 1/400



株式会社 **たいら山口設計 IMA**
〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12
TEL 017-741-5084
FAX 017-742-3103

管 理 一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号
建 築 士 株式会社 たいら山口設計 IMA
建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡

承 認

担 当 ・ 製 図

設計年月日

工 事 名

図 面 名

縮 尺

整 理 NO.

図 面 NO.

令和 7年12月 日

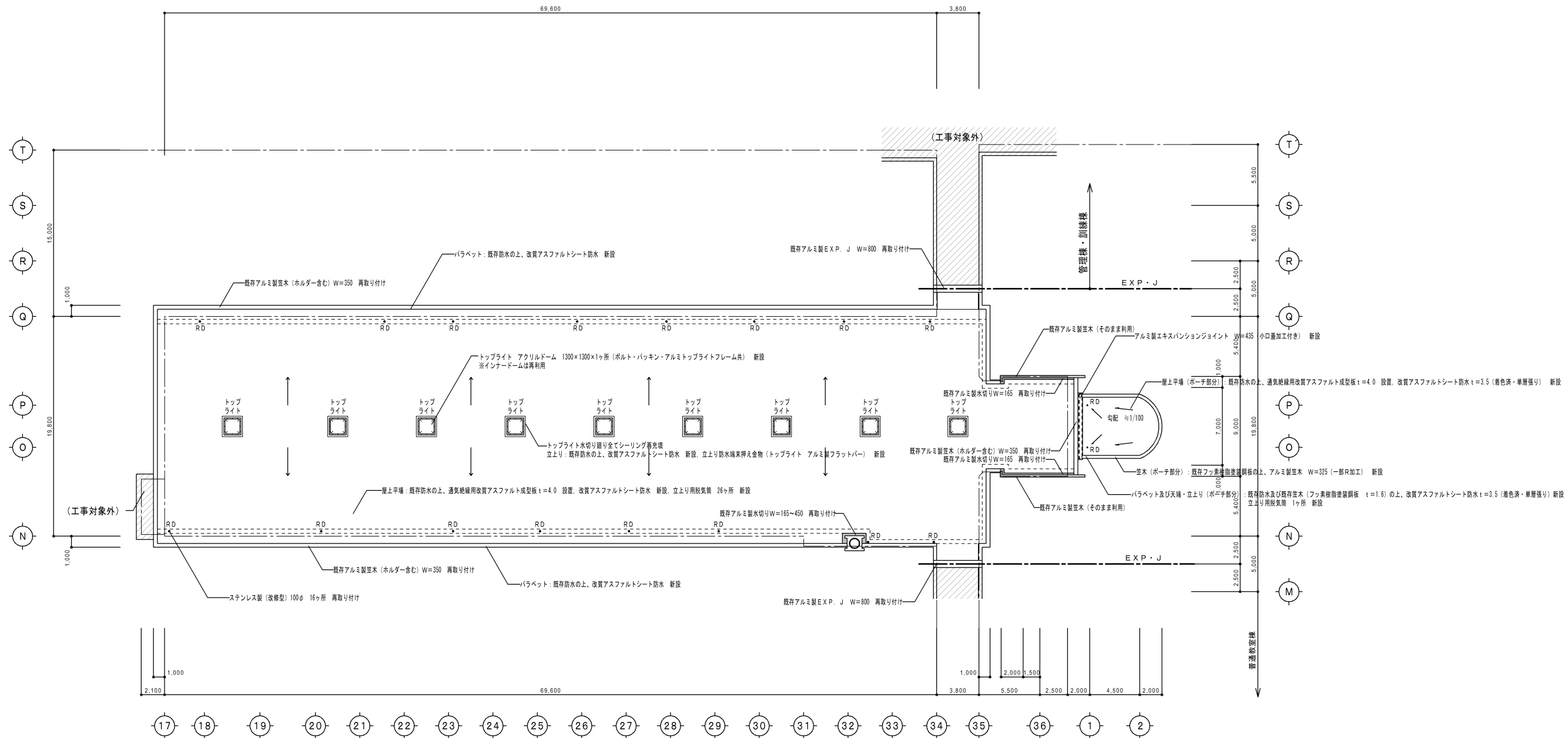
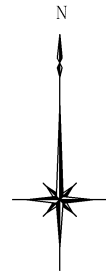
青森第一高等養護学校屋上防水改修工事

改修前屋根伏図 (特別教室棟)

1/200


教 A

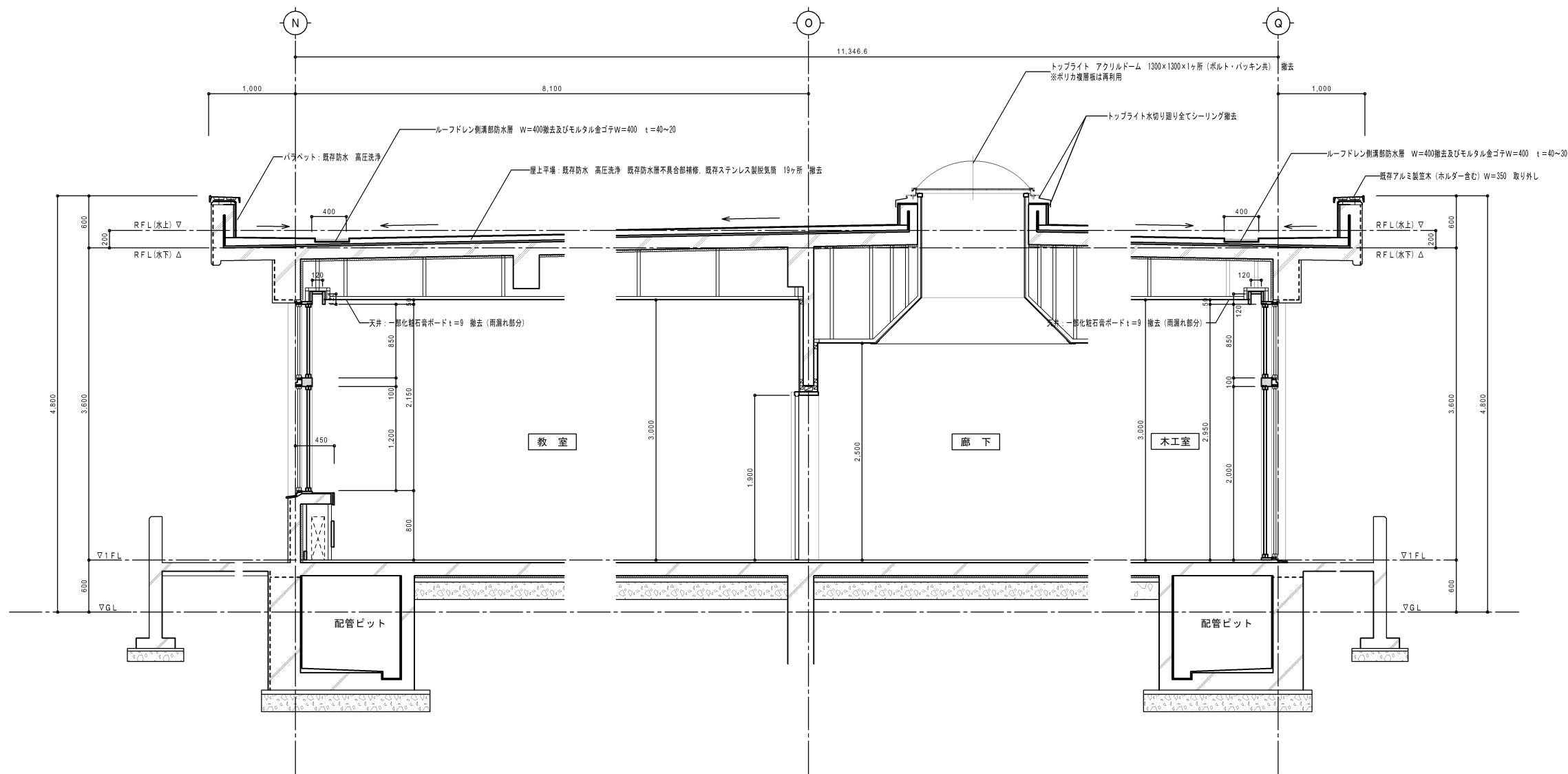
3



改修後屋根伏図 1/200

A1: 1/200, A3: 1/400

 <div>株式会社 たいら山口設計 IMA 〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12 TEL 017-741-5084 FAX 017-742-3103</div>	管 理 一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号 株式会社 たいら山口設計 IMA 建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡	承 認	担 当 ・ 製 図	設計年月日	工 事 名	図 面 名	縮 尺	整 理 NO.	図 面 NO.
				令和 7年12月 日	青森第一高等養護学校屋上防水改修工事	改修後屋根伏図（特別教室棟）	1/200	教 A	4



A1: 1/30, A3: 1/60



株式会社
たいら山口設計 IMA
〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12
TEL 017-741-5084
FAX 017-742-3103

管 理 一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号
建 築 士 株式会社 たいら山口設計 IMA
建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡

承 認

担 当 ・ 製 図

設計年月日

工 事 名

図 面 名

縮 尺

整 理 NO.

図 面 NO.

令和 7年12月 日

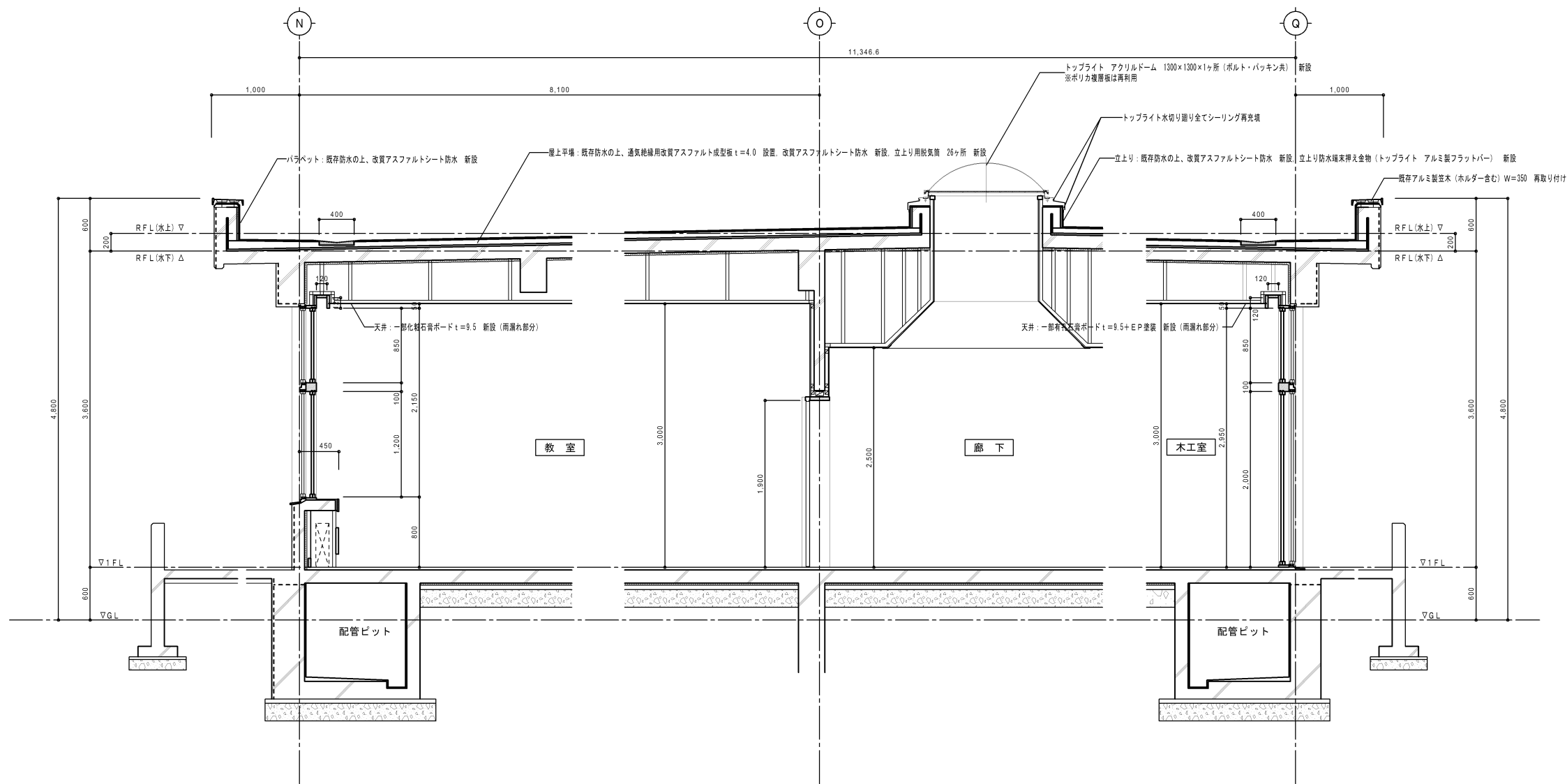
青森第一高等養護学校屋上防水改修工事

改修前矩計図 (特別教室棟)

1/30

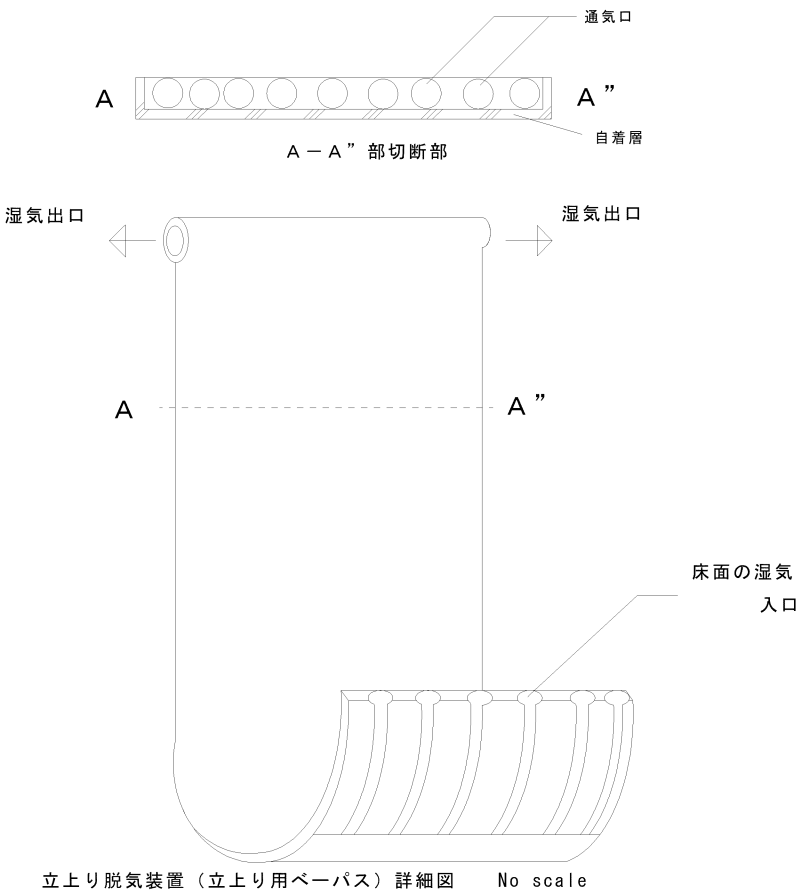
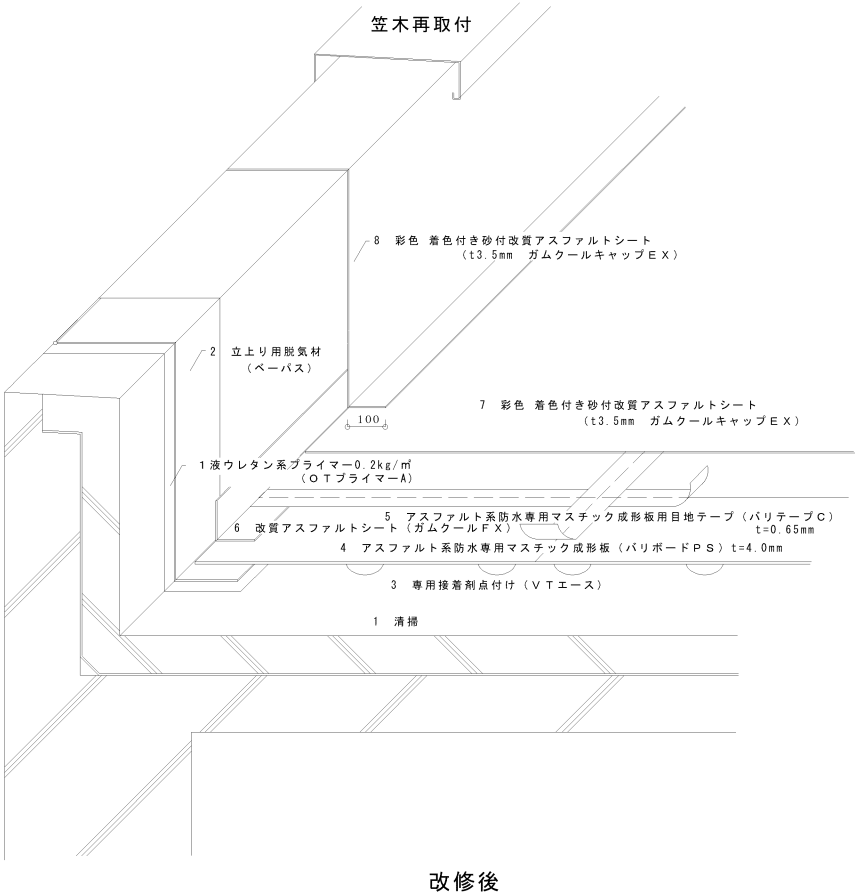
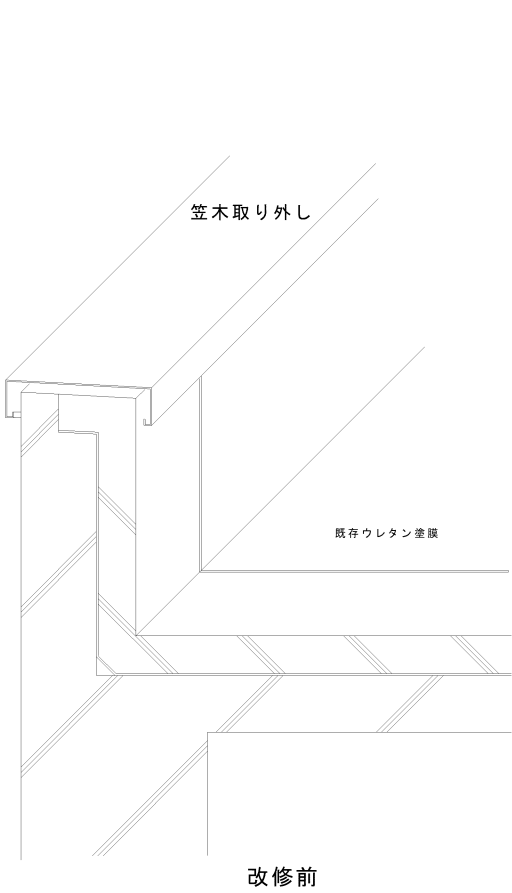
教 A

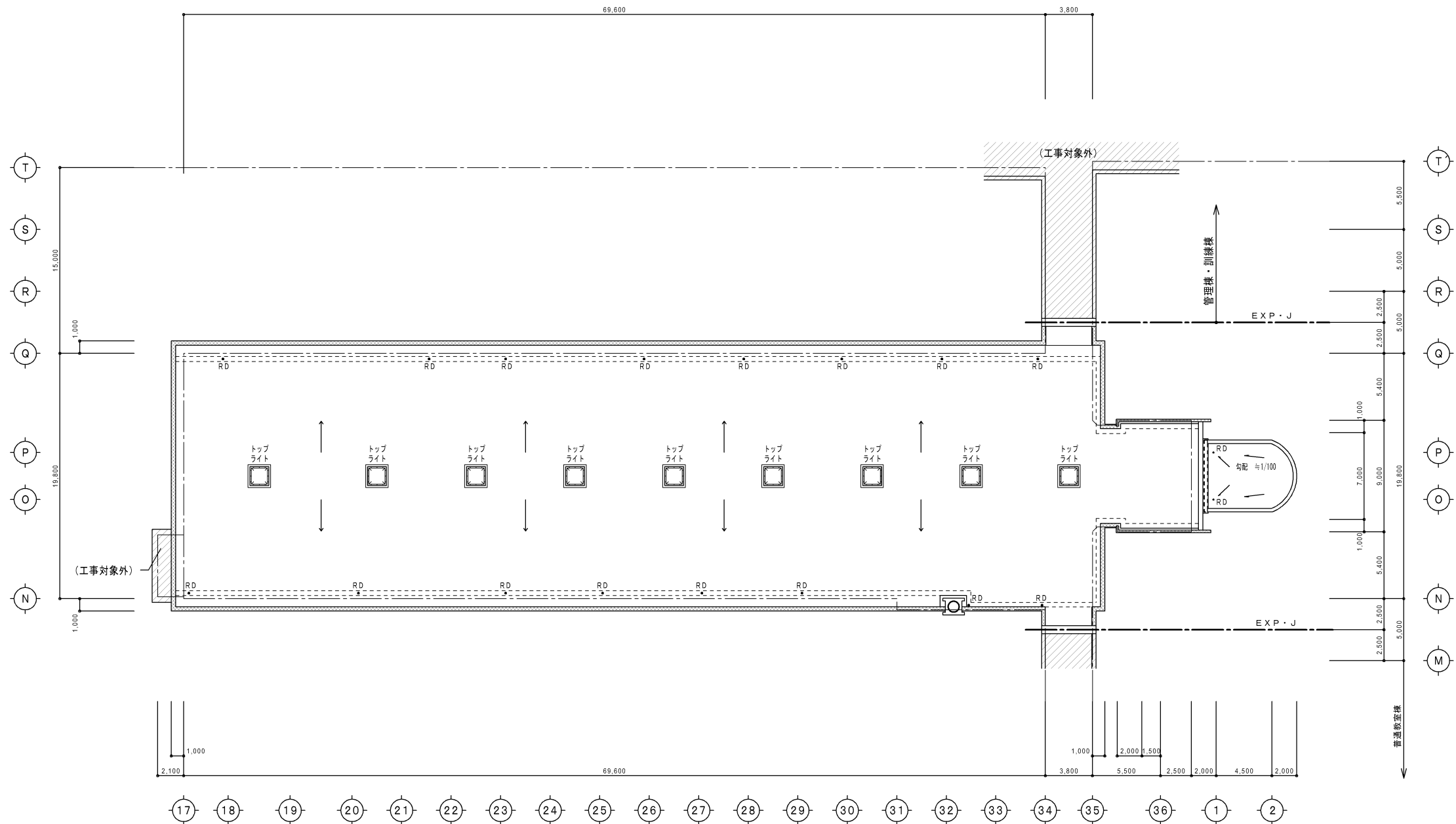
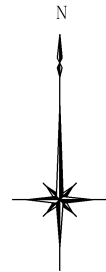
5



A1: 1/30, A3: 1/60

 <div>株式会社 たいら山口設計 IMA 〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12 TEL 017-741-5084 FAX 017-742-3103</div>	管 理 一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号 株式会社 たいら山口設計 IMA 建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡	承 認	担 当 ・ 製 図	設 計 年 月 日	工 事 名	図 面 名	縮 尺	整 理 NO.	図 面 NO.
				令和 7年12月 日	青森第一高等養護学校屋上防水改修工事	改修後矩計図 (特別教室棟)	1/30	教 A	6



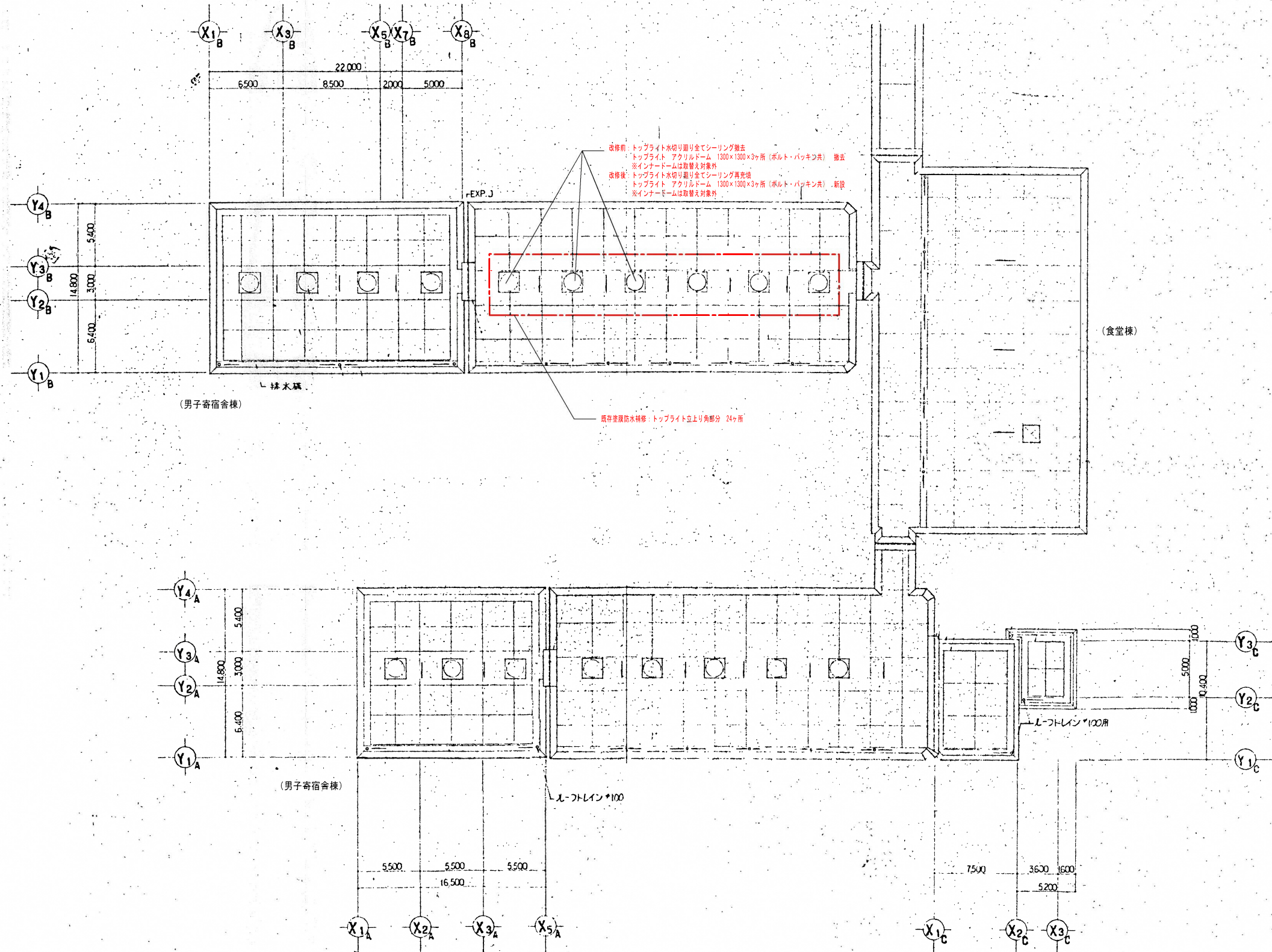


屋根伏図 1/200

落下防止パラペット手摺 (パラペット手すり+単管2段) ※施工状況に応じて設置位置変更をすること

A1: 1/200, A3: 1/400

 株式会社 〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12 TEL 017-741-5084 FAX 017-742-3103	管 理 建 築 士	一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号 株式会社 たいら山口設計 IMA 建設大臣登録第 199418号 一級建築士 山 口 聡	承 認	担 当 ・ 製 図	設計年月日	工 事 名	図 面 名	縮 尺	整 理 NO.	図 面 NO.
					令和 7年12月 日					
						青森第一高等養護学校屋上防水改修工事	安全対策図 (特別教室棟) (参考図)	1/200	教 A	8



屋根伏図 (寄宿舎棟) 1/200

A1: 1/200, A3: 1/400



株式会社
たいら山口設計 IMA
〒030-0903 青森市栄町1丁目15の12
TEL 017-741-5084
FAX 017-742-3103

管 理 一級建築士事務所 青森県知事登録A1第 899 号
建 築 士 株式会社 たいら山口設計 IMA
建設大臣登録第 199418 号 一級建築士 山 口 聡

承認

担当・製図

設計年月日

工事名

図面名

縮尺

整理NO.

図面NO.

令和 7年12月 日

青森第一高等養護学校屋上防水改修工事

屋根伏図 (寄宿舎棟)

1/200

宿 A

1